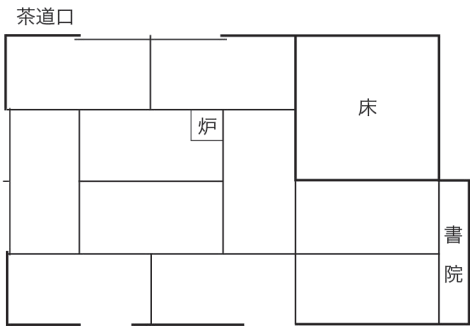


實性寺 表千家茶道の4月稽古

残月亭写し「聴松軒」での稽古

聴松軒

[聴松軒広間]



【4月の稽古】へ5回に分けて

- 一、薄茶 旅簞筥 芝点
- 一、回り炭 筋半田の作りよう
- 一、濃茶 濃茶 五徳蓋置
- 一、薄茶 薄茶 ベトナム製
- 一、風炉灰おさえ 鉄道安・唐銅切合わせ・土風炉

【道具組】

- 【掛物】 源順「山吹の歌」三十六歌仙
- 【花入】 花 「椿 袖かくし」「赤芽柏」
- 【釜】 炉縁 釣り釜
- 【棚】 灰匙 犬鷲 少庵型 備前 少庵型
- 【水指】 灰匙 犬鷲 少庵型 備前 少庵型
- 【香合】 灰匙 犬鷲 少庵型 備前 少庵型
- 【茶入】 仕服 二人静金欄



神懸焼



隅田川



山吹の歌

【稽古の内容】

◆薄茶

旅簞筥

けんどん蓋のあつかい、掛け金具の持ち方、柄杓の棚への納め方

打ち返し方

◆濃茶

仕服棗

特に男子の仕服のはずし方

◆回り炭

包み帛紗（小棗）

底取でのじょうの上げよう

◆灰つくり（乳鉢での灰つくり）

釣釜

一順目から二順目への回し方（初炭及び後炭の入れよう）

風炉の七つ歪み

土風炉 蒔き灰、鱗灰



鉄道安風炉



唐銅切合わせ風炉



土風炉



筋半田



巴半田



萩焼 五徳



箱根寄木棗



包み帛紗

